

Title	言語文化学 Vol.7 学会の活動/会則
Author(s)	
Citation	大阪大学言語文化学. 7 p.247-p.250
Issue Date	1998-03-31
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/78083
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

学会の活動

平成9年6月5日 大阪大学言語文化学会第12回大会

〈研究発表会〉

- 1) 安永昌史 (博士後期課程1年)
Etymologie と Volksetymologie
—「言語活動」学の枠組みの試み—
- 2) 文 春琴 (博士後期課程3年)
在日韓国・朝鮮人のコード切り替えに見られる言語的特徴
—語彙借用による言語変種について—
- 3) 宮西久美子 (言語文化部非常勤講師)
瞿秋白と1950年代の文字改革
- 4) 北村 卓 (言語文化国際関係論講座助教授)
荷風『珊瑚集』初版本のテキスト群とその構造
—パラテキストの観点から—

〈総会〉

活動報告、会計報告 (次頁参照)、委員改選、

新委員：

ヨコタムラカミ・ジェリー、細谷行輝、井元秀剛、
小門典夫 (再任)、ヨコタ村上孝之 (委員長)、
ディボフスキー・アレクサンドル (委員長代理：9月まで)、
五十嵐徳子、上村和美、大谷朗、中村洋、松井理直、永野晶子、
安永昌史、横田陸子、横山香、宮崎衣澄

〈懇親会〉

平成9年10月23日 大阪大学言語文化学会第13回大会

〈研究発表会〉

- 1) 鍛冶 致 (博士後期課程1年)
移民青少年達の「中心文化」への不適応と「周縁文化」への適応

2) 吉川友子 (博士後期課程 2 年)

在日学部留学生の会話行動についての一考察

— トピックの展開を中心に —

3) ボダルコ・ビョートル (博士後期課程 3 年)

神戸における亡命ロシア人コミュニティについて

平成 10 年 3 月 31 日 『大阪大学言語文化学』第 7 号発行

〈査読者〉

郡司隆男、津田葵、中西暉、中埜芳之、成田一、平田達治、三牧陽子、
 森住衛、井元秀剛、大森文子、沖田知子、木村茂雄、坂内千里、
 里内克己、ディボフスキー・アレクサンドル、中直一、服部典之、
 春木仁孝、日野信行、広瀬雅弘、細谷行輝、三藤博、森祐司、
 山下仁、ヨコタ村上孝之、ヨコタムラカミ・ジェリー、力武京子、
 我田広之、渡邊伸治、渡辺秀樹、大村敬一、尾崎久男

《平成 8 年度会計報告》

(単位：円)

収 入		支 出	
学会費 (202 人)	606,000	『言語文化学』第 5 号印刷代	300,000
『言語文化学』売上	3,500	『言語文化学』発送費	73,320
利息	1,001	通信費	17,530
前年度繰越金	678,232	消耗品費	988
		次年度繰越金	896,895
計	1,288,733	計	1,288,733

平成 8 年度会計委員 五十嵐徳子

会計監査 (平成 9 年 5 月 27 日) 金崎春幸

黄 愛玲

大阪大学言語文化学会会則

第1条 本会は大阪大学言語文化学会と称する。

第2条 本会の会員は次の2種とする。

1. 通常会員：大阪大学言語文化研究科及び言語文化部の教官、大学院
院生、大学院修了者で所定の会費を納めたもの。
2. 特別会員：元教官及び本会にとくに貢献したもの。

第3条 本会は会員の学術研究を促進するとともに、研究成果の普及をはかり、
広く学術全般の進展に寄与することを目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達するために研究会を開催し、機関誌を発行する。

第5条 本会の会員は機関誌の配布を受ける。

第6条 本会は第3条の目的を達するために年1回、言語文化学会総会を開催す
る。

第7条 本会に次の役員をおく。

1. 会長及び委員、監事をおく。
2. 会長を言語文化研究科長、副会長を言語文化部長とする。
3. 委員は原則として教官より5名、大学院院生より5名を選出する。
なお別に事務担当をおくことができる。
4. 監事は2名とし、会計の監査にあたる。監事は会長が委属する。

第8条 本会に委員会をおく。

1. 委員会は前条3の委員をもって構成する。
2. 委員会に委員の互選による委員長、企画・編集委員（若干名）、会
計委員（若干名）をおく。
3. 委員会は本会の運営にあたる。

第9条 役員の任期は次の通りとする。

1. 会長及び副会長の任期は言語文化研究科長及び言語文化部長の任期
に従う。
2. 委員の任期は1年とする。
3. 監事の任期は1年とする。

第 10 条 本会の経費は会員の会費及びその他の収入による。

1. 会費は付則に定めるところによる。
2. 本会の会計年度は毎年 4 月より翌年 3 月までとする。

第 11 条 本会の事務局は大阪大学言語文化研究科内におく。

- 付則
1. 通常会員は会費として年間 3000 円を納める。
 2. この会則の改正は、総会において出席者の 3 分の 2 以上の賛同を必要とする。
 3. 本会則は平成 3 年 5 月 8 日より発効する。